



大分市
平和市民公園



別府市
海地獄



中津市
青の洞門



日田市
天ヶ瀬温泉



豊後高田市
真玉海岸



杵築市
杵築城



由布市
由布院の観光辻馬車



宇佐市
宇佐神宮



国東市
弥生のムラ
(安国寺集落遺跡公園)



姫島村
姫島盆踊り



日出町
山田湧水



九重町
やまなみハイウェイ



玖珠町
慈恩の滝



大分県の県鳥
メジロ



国土交通省 九州地方整備局
大分河川国道事務所

大分河川国道事務所の概要

大分の暮らしを土台から支える、大分河川国道事務所

大分河川国道事務所は、県都大分市の中心部を流れて別府湾に流れ込む大分川・大野川の管理、大分川ダム
の管理、及び大分県内外の主要都市間を結ぶ国道10号・210号などの整備や維持管理を行っています。

これらの取り組みを地方自治体や地域の方々などの多様な主体と着実に連携し、ソフト施策とも一体とな
って進め、地域の安全・安心なくらしの実現や、円滑な交通確保による地域活性化、国土の発展・保全に貢
献するため各事業を推進しています。



【管内の市町村】

市町村名	大分県	大分市	別府市	中津市	日田市	豊後高田市	杵築市
人口	1,131,830人	477,420人	117,868人	82,930人	62,709人	22,060人	28,313人
面積	6,340.7km ²	502.39km ²	125.34km ²	491.44km ²	666.03km ²	206.24km ²	280.08km ²

市町村名	宇佐市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町
人口	53,673人	33,090人	26,389人	1,774人	27,963人	8,852人	14,596人
面積	439.05km ²	319.32km ²	318.10km ²	6.99km ²	73.32km ²	271.37km ²	286.60km ²

出典：人口は大分県統計調査課「大分県の人口推計」(令和2年1月1日現在)、面積は国土地理院「全国市町村別面積」(令和元年10月1日)を基に作成

単位：百万円

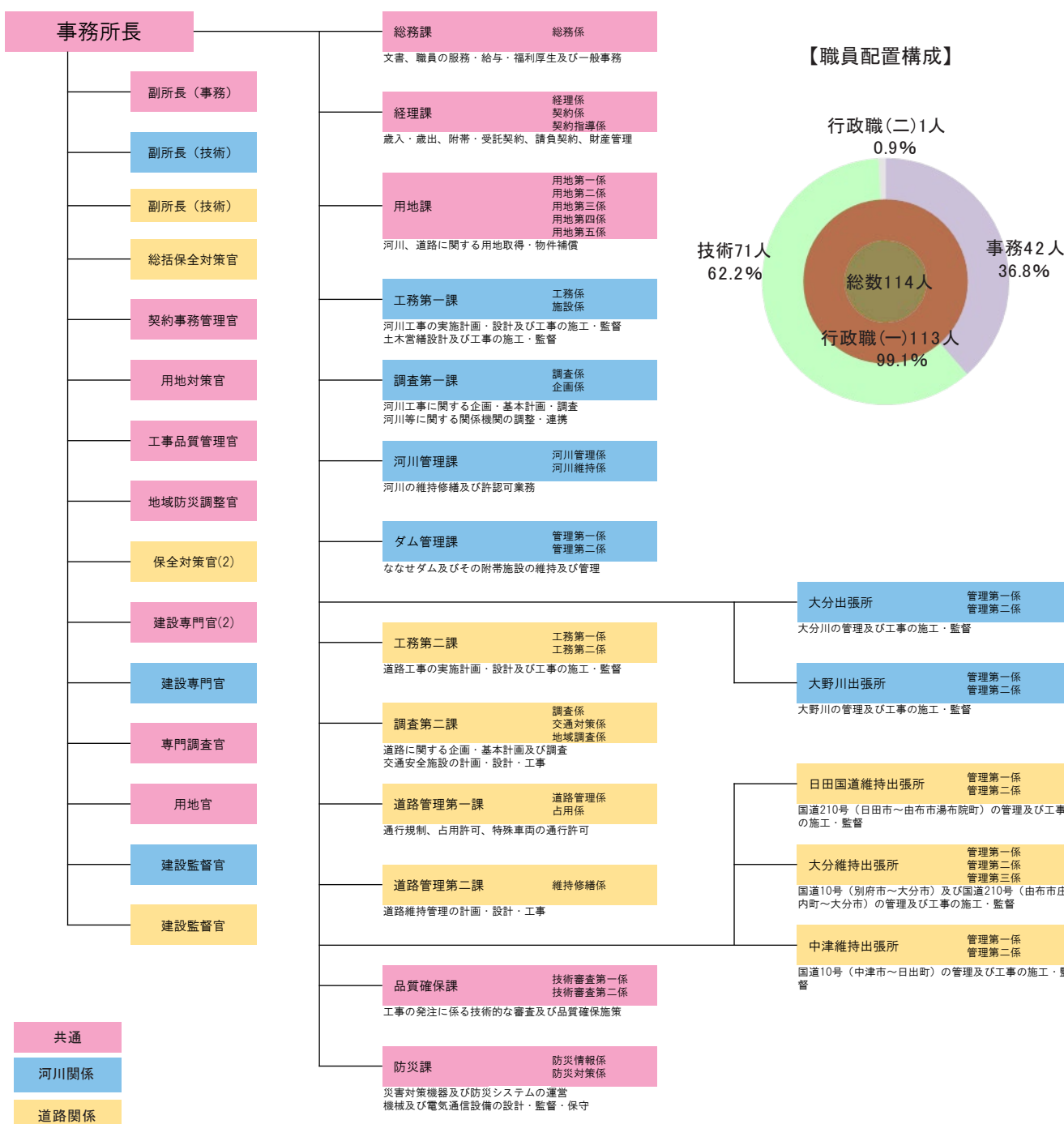
大分河川国道事務所の予算は、令和元年度が152億円、令和2年度が約146億円となっています。

限られた予算を有効かつ効率的に執行するため各事業の進捗と連携を横断的に取り組んでいます。

事業区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
河川関係	1,593	3,300	2,891
道路関係	9,615	11,910	11,803
全 体	11,208	15,210	14,694

河川関係とは、河川改修、河川工作物関連応急対策事業、河川維持修繕、河川等災害復旧、堰堤維持の合計。
道路関係とは、改築事業、無電柱化推進事業、道路交通安全対策事業及び交通安全事業、維持修繕事業の合計。
注：改築事業には、地域高規格道路事業が含まれる。

【組織図】



概 要 01

大分河川国道事務所の概要	01
--------------------	----

河 川 04

大分川水系関連事業	05
大野川水系関連事業	07
大分川ダム関連事業	09
河川の維持管理事業	11

道 路 12

令和2年度の主な道路事業	13
電線共同溝事業	16
交通安全事業	17
道路の維持管理事業	18

防 災 20

地域への防災支援	21
平成29年台風第18号災害、平成30年台風第24号災害	23
防災情報の提供	25
国土強靱化基本計画	28

地 域 連 携 30

学習機会の提供	31
川に関する検討会	32
道と関わる3団体の連携	33

大分河川国道の歩み 36

ロードマップ	37
大分河川国道事務所の歴史	39
大分県観光MAP	41
大分県の日本一	42

大分河川国道事務所や各出張所についての各種お問い合わせ先は、裏表紙にあります。



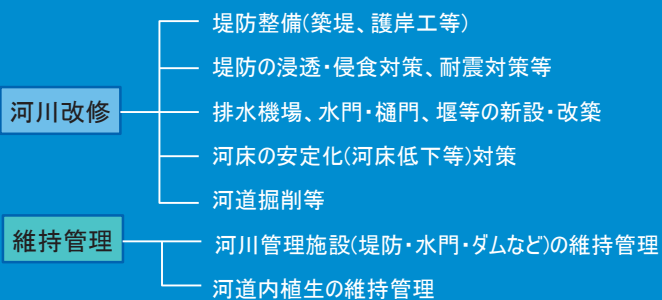
大野川河口

人の営みとともに

当事務所が管理する大分川・大野川の二つの一級河川は、大分の発展の礎となってきました。憩いや交流の場でもある河川をより生活しやすく、より安全に利用できるよう、整備を進めています。

河川

【河川事業の概要】



【本年度の主な河川事業箇所】



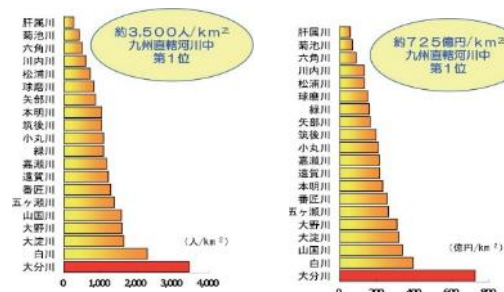
大分川水系関連事業

大分川の概要

大分川は、その源を由布市湯布院町の由布岳に発し、賀来川、七瀬川と合流し、大分市において別府湾に注ぐ幹川流路延長55km、流域面積650km²の一級河川です。

流域内の人口は約26万人で、大分県の社会、経済、文化の基盤をなしています。

【想定氾濫区域内人口密度】【想定氾濫区域内資産密度】



出典：国土交通省・水管理・国土保全ホームページ
「一級水系における流域等の面積、総人口、一般資産額等について(想定氾濫区域)」(調査基準年：平成22年)

【大分川流域図】



水源地及標高	大分県由布市湯布院町 由布岳 標高1,583m
氾濫防御区間	45km(大臣管理区間38km)
事務所管理区間	本川17.0km 支川七瀬川7.8km 支川賀来川2.0km 総延長26.8km
計画高水流量	(基準地点)府内大橋 基本高水流量5,700m ³ /s 計画高水流量5,000m ³ /s

大分川流域の過去の水害

水害の多くは台風や梅雨前線に起因する大雨によって発生しています。昭和28年8月洪水では、堤防決壊による氾濫が発生しました。

昭和28年6月洪水(梅雨前線)

大分市の明礪橋の水位は、26日14時に計画高水位を突破し、16時に最高水位に達しました。舞鶴橋が流出しました。



大分川舞鶴橋



下郡地区(外水)

平成5年9月洪水(台風第13号)

台風第13号による大雨で、大分では観測史上第1位の最大1時間降水量81.5mm、観測史上第2位の日降水量414mmを記録しました。



賀来川小畑橋



七瀬川露橋

平成9年9月洪水(台風第19号)

台風第19号による大雨で、13日から16日までの総降水量は湯布院で379mm、大分で267mmを記録しました。



賀来川由布川橋



尼ヶ瀬地区(内水)

平成16年10月洪水(台風第23号)

台風第23号による大雨で、18日から20日までの総降水量は大分で409mmを記録しました。



賀来川宮苑地区(外水)



田尻地区(内水)

大分川中上流部河川改修事業(平成25年度～)

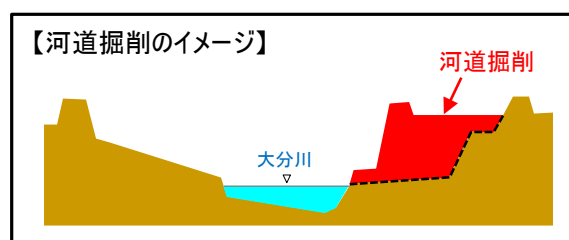
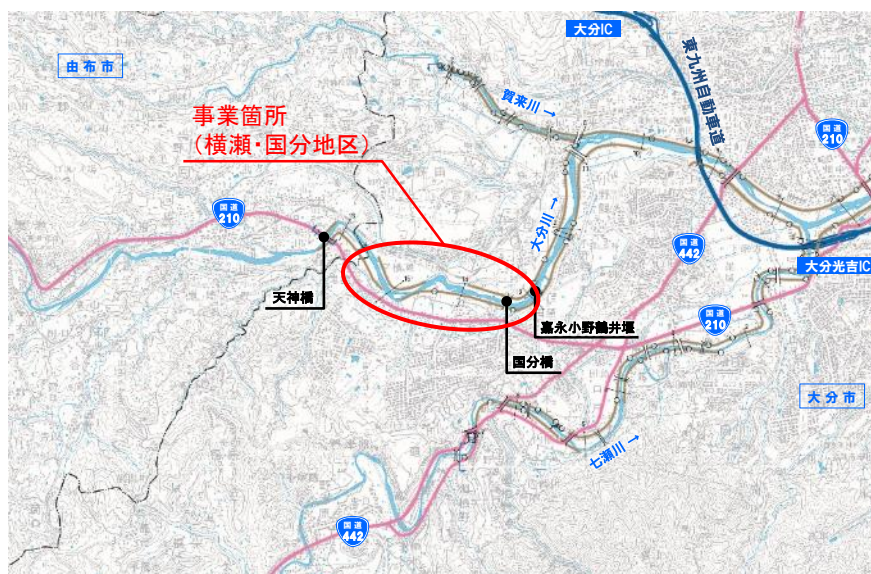
大分川中上流部(横瀬・国分地区)において、多様な水辺環境に配慮しながら、洪水を安全に流すための能力が不足している区間の河道掘削を実施しています。

また、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラ緊急点検結果に基づき、緊急的に樹木伐採・河道掘削を併せて実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

令和2年度は、引き続き河道掘削等を実施します。



【工事状況 R2.2】



大分川下流部河川改修事業(令和2年度～)

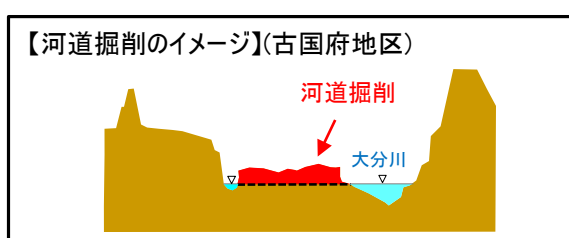
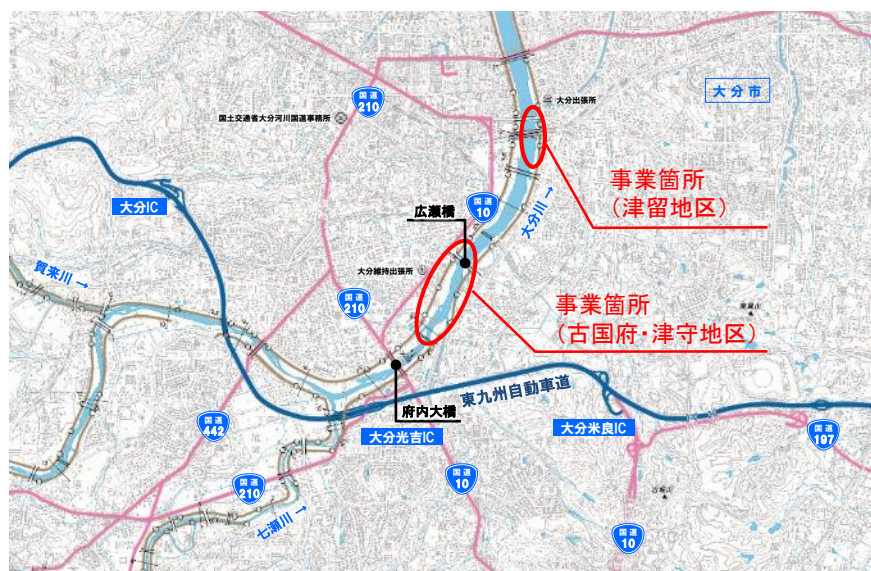
大分川下流部(津留・古国府・津守地区)において、多様な水辺環境に配慮しながら、洪水を安全に流すための能力が不足している区間の河道掘削を実施します。

また、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラ緊急点検結果に基づき、緊急的に樹木伐採・河道掘削を併せて実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

令和2年度は、河道掘削等を実施します。



【現況 R2.2】(古国府地区)



大野川水系関連事業

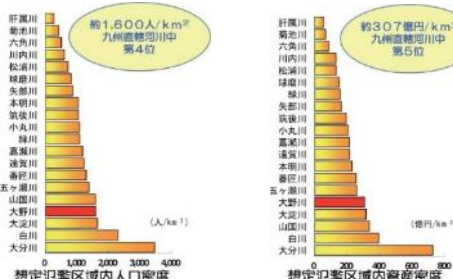
大野川の概要

大野川は、その源を宮崎県西臼杵郡高千穂町祖母山に発し、大分市大津留において乙津川を分派し、別府湾に注ぐ幹川流路延長107km、流域面積1,465km²の一級河川です。流域内の人口は約21万人で、流域の産業活動は三次産業の比率が高く、河口部付近一帯は工業地帯として発展しています。

【大野川流域図】



【想定氾濫区域内人口密度】【想定氾濫区域内資産密度】



出典：国土交通省・水管理・国土保全ホームページ

「一級水系における流域等の面積、総人口、一般資産額等について(想定氾濫区域)」(調査基準年：平成22年)

水源地及標高	宮崎県西臼杵郡高千穂町 祖母山 標高1,756m
氾濫防御区間	50km(大臣管理区間45km)
事務所管理区間	本川19.8km 支川乙津川10.9km 支川判田川1.3km 支川立小野川0.3km 総延長32.3km
計画高水流量	(基準地点)白滝橋 基本高水流量11,000m ³ /s 計画高水流量9,500m ³ /s

大野川流域の過去の水害

水害の多くは台風や梅雨前線に起因する大雨によって発生しています。平成29年9月洪水は、観測史上最大規模の洪水となりました。

昭和18年9月洪水(台風第26号)

台風第26号による大雨は下流平地部及び中流部に集中し、激激な大野川の水位上昇で、下流部の堤防は至るところで越流により決壊し、鶴崎町を中心とした平地部は浸水し大被害が生じました。



大野川8k400付近
決壊箇所

平成5年9月洪水(台風第13号)

台風第13号による大雨で、大分は日降水414mm、最大1時間降水量は観測史上第1位の81.5mmを記録し、犬飼・大津留・高田橋の観測所では観測史上最高水位を記録しました。



大分市毛井地区



大野川20k000付近状況

平成17年9月洪水(台風第14号)

台風第14号は長時間激しい雨が降り続き、4日から6日までの総降水量は、竹田で418mm、大分で375mmを記録しました。



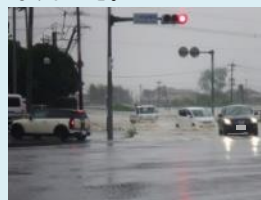
岩舟地区



利光地区

平成29年9月洪水(台風第18号)

台風第18号による大雨は、大野川流域で台風18号が接近した17日の早朝より夕方にかけて猛烈な雨となり。長谷川で日雨量571mmを記録し、白滝橋で観測史上最大流量の洪水となりました。



毛井地区



利光地区

宮河内地区河川改修事業(平成30年度～)

平成5年、平成17年、平成29年に被害を受けた大野川宮河内地区の浸水被害の軽減を図るため、県の宮谷川改修事業と併せて宮谷排水樋門の改築を実施します。

令和2年度は、宮谷排水樋門の改築及び現在の樋門の撤去工事を実施します。



【工事状況 R2. 2】

【宮谷排水樋門改築のイメージ】



※樋門の流下断面を拡大します。
 【現在の樋門】 門数2門・1門あたり
 (高さ) 2.25m×(幅) 2.25m
 【改築後の樋門】 門数2門・1門あたり
 (高さ) 2.50m×(幅) 4.60m

大野川耐震対策事業(平成25年度～)

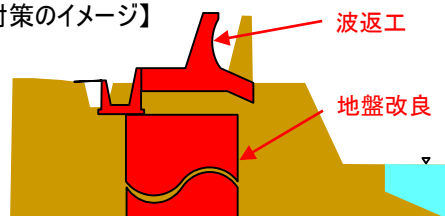
大野川河口部は、新産業都市指定により事業用地の埋立てを実施して企業誘致がなされ、九州でも有数の製造品出荷額を誇る工業地帯として発展しており、耐震対策を実施することで、南海トラフ地震等に備えます。

また、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラ緊急点検結果に基づき、緊急的に耐震対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



【工事状況 H25】

【耐震対策のイメージ】

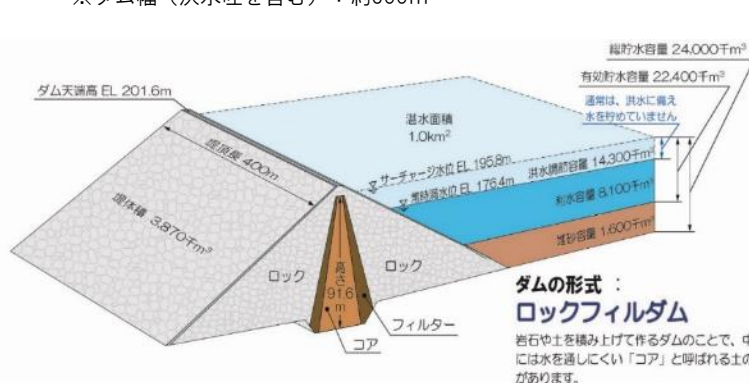


大分川ダム（ななせダム）関連事業

大分川ダム（ななせダム）の概要

位置	左岸：大分市大字下原地先 / 右岸：大分市大字下原地先				
河川名	大分川水系七瀬川	堤頂長	400m※	利水容量	8,100千m ³
ダムの形式	ロックフィルダム	堤体積	3,870千m ³	堆砂容量	1,600千m ³
集水面積	38.0km ²	総貯水容量	24,000千m ³	ダム天端高	EL 201.6m
湛水面積	1.0km ²	有効貯水容量	22,400千m ³	サーチャージ水位	EL 195.8m
堤高	91.6m	洪水調節容量	14,300千m ³	常時万水位	EL 176.4m

※ダム幅（洪水吐を含む）：約500m



大分川ダム（ななせダム）の目的

洪水調節

- ◆ 流域内の洪水調節施設と合わせて、大分川沿川の地域を洪水から守ります。

ダムがないと...

大雨による川の増水時、水がそのまま下流域へと流れてしまうと、洪水などの災害が発生する場合があります。



ダムがあると...

上流に降った大雨をダムでいったんため込んで、洪水調節を行うことで、洪水を防ぎます。



河川環境用水

- ◆ 雨が降らない日が続いても、ダムに貯めた水を補給することで、川の水量を保ちます。

ダムがないと...

日照りが続いて川の水量が少なくなると、水辺の生き物が生息しにくくなります。



ダムがあると...

必要な時にダムから水を補給することで、水辺の生き物が安心して生息できます。



水道用水

- ◆ 川への流量が豊かな時にダムへ水を貯め、必要な時に供給することで、新たな水資源を確保します。

ダムがないと...

渇水の時に、減水や断水になることがあります。



ダムがあると...

ダムに貯めた水を利用して、水道の水を安定的に利用できます。



●但し、ダムも万能ではありません。

目標とする規模を上回る洪水の流入や渇水に対しては、対応できない場合もあります。

大分川ダム(ななせダム)の機能

ダム管理体制

大分川ダム(ななせダム)では毎日管理所に職員が常駐しております。また大雨により洪水の危険性が高まり放流量が増える際は警戒態勢に入り、事前に地域の方々への放流量増加のお知らせや関係機関との情報共有を行います。

◆気象・水文データ収集のための観測所

【警報局】



【水位観測所】



【雨量観測所】



試験湛水(平成30年度～)

大分川ダム(ななせダム)では現在試験湛水を行っています。試験湛水とはダム本体、基礎地盤及び貯水池周辺の安全性を確認するため、ダムの最大水位であるサーチャージ水位まで貯水を行いその後最低水位まで低下させる作業です。試験湛水中は毎日巡視を行っています。

◆試験湛水用仮設ゲート設置状況



◆巡視作業の様子

【ダム湖巡視】



【漏水量観測】



河川の維持管理事業

大分川・大野川の維持管理

河川堤防や排水ポンプ場などの河川管理施設が通常時や災害時に的確に機能するよう、定期的又は必要に応じて維持・補修・更新を実施しています。

河川堤防では、法面補修や河川巡視、堤防除草などの日常的な管理の他、洪水時に支障となる河川内の樹木の管理を実施します。また、水門等の河川管理施設の操作に支障となる堆積した土砂や塵芥を撤去します。

河川における施設点検

防災面や安全面、環境面などの観点から、総合的かつ適正に河川を管理するため、多様な関係者との合同点検を実施しています。

水門等の現地一斉点検

出水期前に大分川・大野川の水門等の施設及びその周辺の状況について消防団と行政が合同で点検を実施しています。



大分川・大野川安全利用点検

河川利用が増える夏休み前に、市民団体と行政が一体となり河川利用空間の安全点検を実施しています。



許可工作物等の出水期前点検

地域の安全性確保に努めるため、大分川・大野川水系の許可工作物を対象に出水期前に点検を実施しています。



許認可関係

川はみんなの財産であり、水泳、散策、サイクリングなど、河川管理上支障のない行為であれば誰でも自由に使用できますが、使用目的によっては許認可の手続きが必要です。



大分みちフォトコンテスト 応募作品より

生活及び地域振興の基盤として

各地域をつなぐ基軸として、物流、商業、観光、地域産業等を支え、自動車、自転車、歩行者…大分に住む・大分を移動する多くの人々にとって、より安全でスムーズに移動できる道路を目指して、整備を行っています。

道 路

【道路事業の概要】

改築

高規格幹線道路・地域高規格道路の整備、
バイパスの整備、現道拡幅、沿道環境改善、
防災対策等

交通安全

歩道、自転車走行空間、交差点改良、無電柱化の整備等
道の駅、簡易パーキング等の整備、
道路情報板、防護柵、区画線、道路照明、案内標識

維持管理

巡回、清掃、除草、剪定、除雪等
橋梁、トンネル、舗装等の補修、耐震補強等防災対策、
構造物・施設点検等

【本年度の主な道路事業箇所】

国道212号
三光本耶馬溪道路…P13

国道210号
川下改良…P15

国道10号
高江拡幅…P14

国道210号
横瀬拡幅…P15

中九州横断道路
(竹田阿蘇道路)

R2事業費
(C=52.5億円)

国道10号 高江拡幅 (大分市 L=2.8km)

R2事業費
(C=10.0億円)

高江地区の一般国道10号は、直轄国道の2車線区間では九州最大級の交通量となっており、交通渋滞が慢性化しています。

高江拡幅は、交通渋滞を解消し、地域の経済活動への貢献や住民生活の快適性・安全性の向上を目的とした、延長2.8kmの拡幅事業です。

令和2年度は道路設計及び用地買収、工事を推進します。

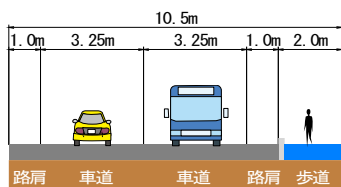
【現在の渋滞状況】



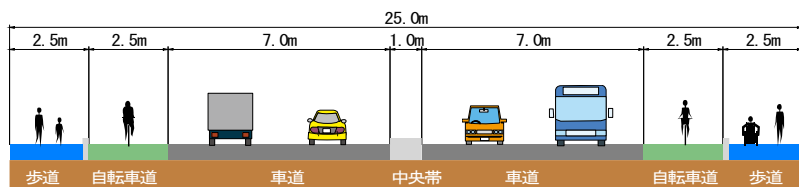
【駕野地区の工事状況】



【現況断面】



【完成断面】



国道210号 川下改良 (日田市 L=1.1km)

R2事業費
(C=1.0億円)

川下改良は国道210号大分県日田市と福岡県うきは市の県境部に位置し、国道は三隈川と崩落の危険性がある崖に挟まれています。

川下改良は、トンネル新設により災害を未然に防止し、交通の円滑化や沿道環境の改善等を図る事業です。

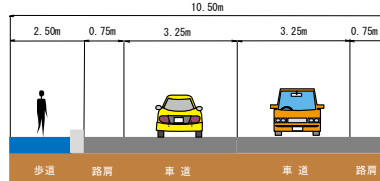
令和2年度は測量及び調査設計を推進します。

【既設トンネルの状況】

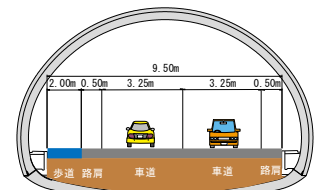


【完成断面】

【一般部】



【トンネル部】



国道210号 横瀬拡幅 (大分市 L=1.5km)

R2事業費
(C=2.0億円)

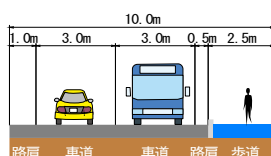
横瀬地区は住宅団地の分譲や商業施設の進出などで交通需要が年々増加しており、朝夕を中心に渋滞が発生しています。また、歩道が未設置の区間もあり、歩行者の安全な通行が確保できない状況です。

横瀬拡幅は、4車線へ拡幅を行うことにより、交通混雑の解消、交通安全の向上を図る事業です。

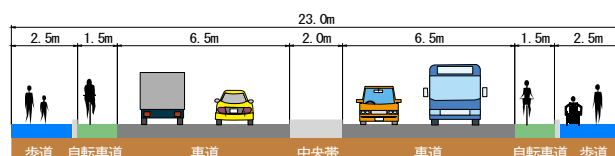
令和2年度は道路設計及び用地買収を推進します。



【現況断面】



【完成断面】



電線共同溝事業

国道10号及び210号における無電柱化対策

R2事業費
(C= 1.3億円)

国道10号及び210号において、電線共同溝の整備により「緊急輸送経路の確保」、「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」を推進するため無電柱化対策を実施しています。

国道10号 錦町地区

整備イメージ図



事業化年度: 令和元年度

国道210号 光吉地区

整備イメージ図



事業化年度: 平成30年度

国道10号 鷺野地区

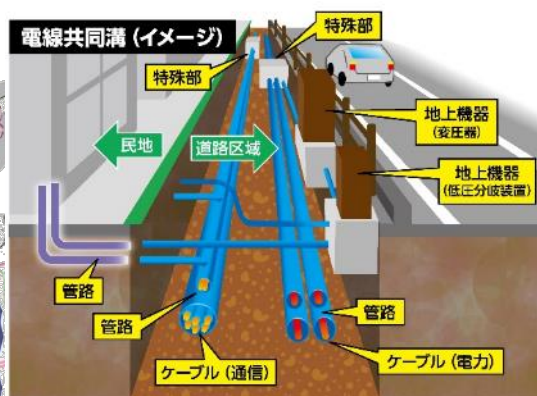
整備イメージ図



事業化年度: 平成30年度

無電柱化とは？

無電柱化とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線するなど、道路から電柱をなくすことです。



緊急輸送経路の確保

安全で快適な通行空間の確保

都市景観の向上

電柱の課題

災害時、電柱の倒壊により救急救命活動や支援物資輸送等の緊急輸送や通信・電力供給に支障



▲熊本地震による電柱の傾斜
(熊本県道28号(緊急輸送経路))

▲熊本地震による電柱の倒壊
(熊本県益城町)



▲通行の妨げになる電柱(熊本県熊本市)



▲景観を阻害する電柱(福岡県うきは市)

無電柱化の効果

◎緊急輸送経路が確保でき、通信・電力供給の支障が軽減



▲無電柱化により震災被害がなかった区間
(熊本県道28号(緊急輸送経路))

◎快適な歩行空間の確保



▲無電柱化により歩行空間が広がり、高齢者や車椅子・ベビーカーの利便性向上

◎歴史的街並みの復活



▲無電柱化により景観向上

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

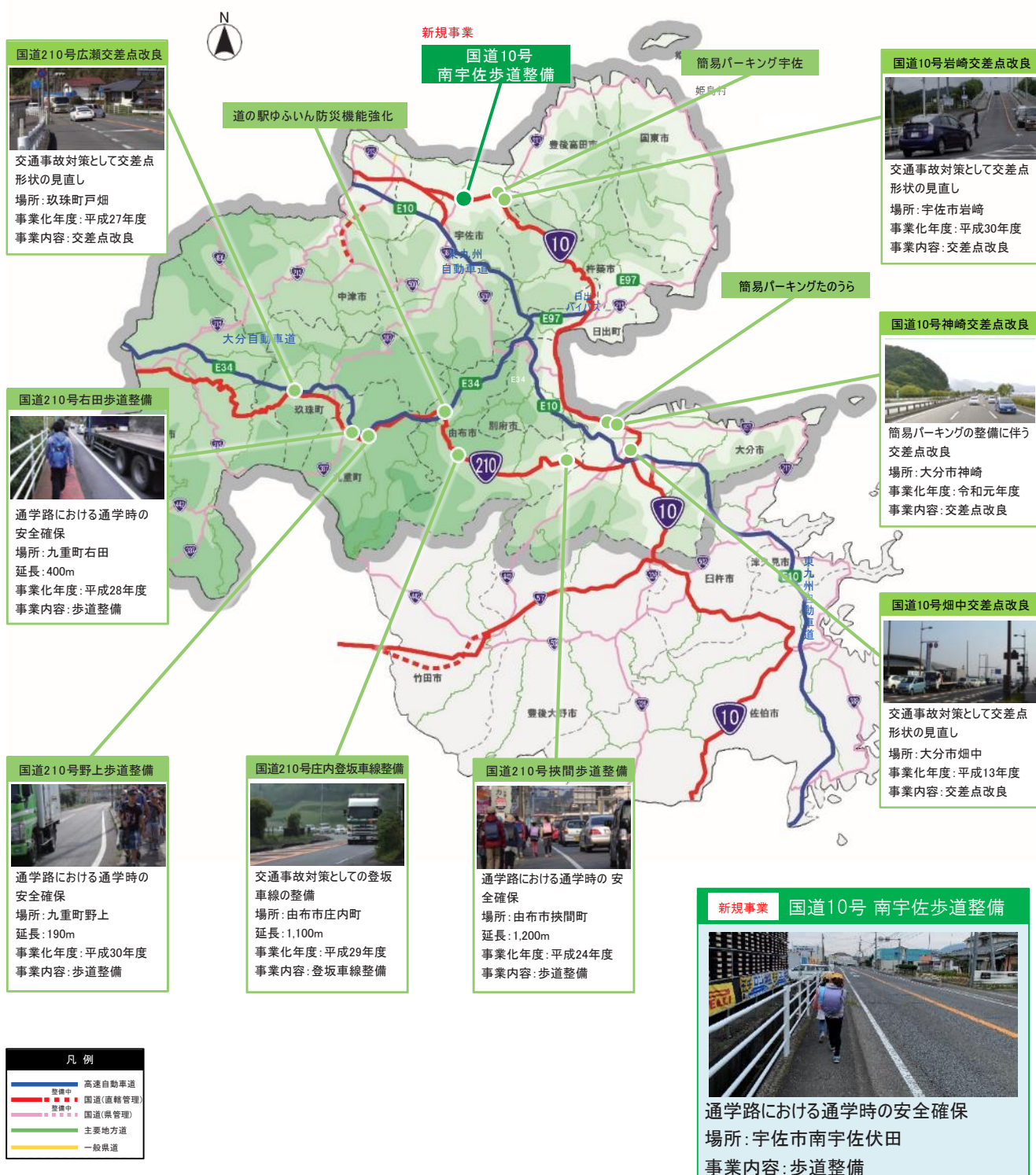
交通安全事業

国道10号及び210号における交通事故対策

R2事業費
(C=13.0億円)

国道10号及び210号における交通事故対策として「事故危険箇所」「事故ゼロプラン」による交差点改良や登坂車線整備及び通学路の交通安全の確保として「通学路対策（合同点検）」による歩道整備、簡易パーキングの整備や道の駅の防災機能強化を実施しています。

【令和2年度の主な事業箇所】



道路の維持管理事業

維持管理

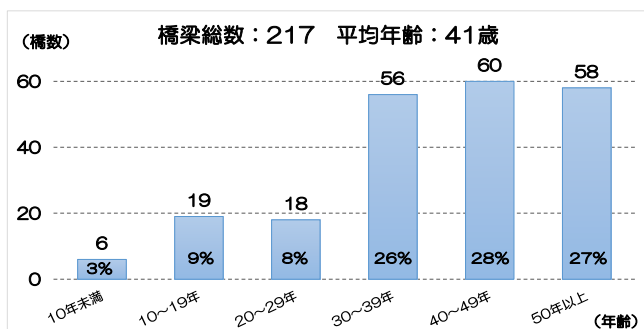
日常的な維持管理

道路構造を保全し、道路の安全性と交通の円滑化を図るため、日常的に道路の維持管理を行っています。道路の清掃や植栽管理をはじめ、路面、橋梁、トンネル、照明灯、トンネル消火設備などの道路施設の多種多様な損傷を発見するための道路巡回を実施し、発見された損傷箇所の維持補修を実施しています。また、低温時や降雪時には道路の凍結対策を実施しています。

道路施設の長寿命化対策

高齢化が進む橋梁等の道路施設の長寿命化を図るため、施設の点検を実施するとともに、損傷箇所については補修等による予防保全を確実に進めています。

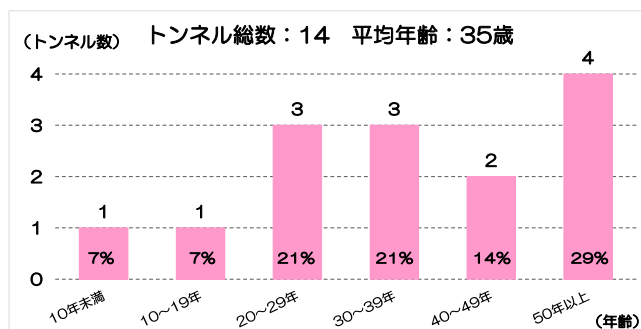
【管内の橋梁平均年齢(2019.4時点)】



管内の橋梁平均年齢は41歳

- ・大分河川国道事務所が管理する橋梁は、217橋(中津維持出張所管内81橋、日田国道維持出張所管内68橋、大分維持出張所管内68橋)です。
- ・橋梁については、建設から50年以上経過したものが約27%を占め、平均年齢は41歳です。
- ・更に、大分河川国道事務所管内の50年以上経過した橋梁は、10年後には54%、20年後には80%まで増加していきます。

【管内のトンネル平均年齢(2019.4時点)】



管内のトンネル平均年齢は35歳

- ・大分河川国道事務所が管理するトンネルは、14トンネル(日田国道維持出張所管内9トンネル、大分維持出張所管内5トンネル)です。
- ・トンネルについては、建設から50年以上経過したものが約29%を占め、平均年齢は35歳です。
- ・更に、大分河川国道事務所管内の50年以上経過したトンネルは、10年後には43%、20年後には64%まで増加していきます。

橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検・補修の実施

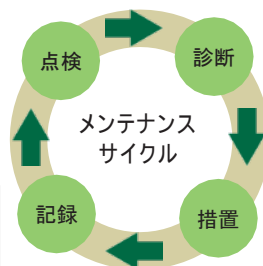
道路インフラの老朽化対策の本格実施に向け、点検・診断・措置・記録の業務サイクルを通して、長寿命化計画の内容を充実し、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築し、道路構造物の適切な維持管理を行います。



定期的な点検し、損傷状況を把握。



各種点検結果や補修等の履歴を記録保存。



定期点検結果に基づき損傷原因に関する所見をまとめ、対策判定し、補修等の計画を策定。

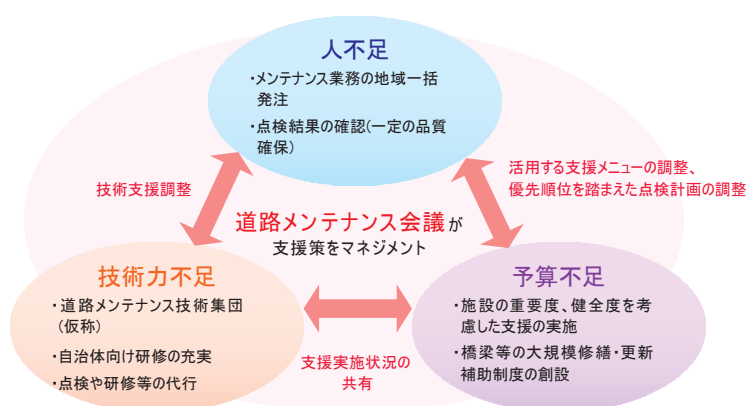


補修等の計画に基づき、効率的に補修を行う。

メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

県内の道路インフラの課題を継続的に把握・共有するとともに、効果的・効率的に老朽化対策を推進するため、市町村の3つの課題（人不足・技術力不足・予算不足）に対し、国と大分県と連携して、支援方策を検討するとともに、それらを活用・調整するため『道路メンテナンス会議』を設置しています。

【メンテナンスサイクルを回す仕組み】



大分県道路メンテナンス会議



跨線橋の点検



現地視察会の開催

道路施設の防災・耐震対策

大規模な災害（地震・豪雨等）が発生した場合であっても道路施設の重大な損傷を防止し、災害後の人命救助や物資輸送などに活用される緊急輸送道路が確保されるよう対策を進めています。

■ 法面对策

法面等について点検を行い、豪雨時などに法面崩壊を防止するための対策。



対策前



対策後

【法面防護対策】コンクリート法枠

■ 橋梁耐震対策

地震時などに橋梁の倒壊・落橋、さらには重大な損傷を防止するための耐震対策。



【橋脚の耐震補強対策】
(コンクリート巻立て)



【橋脚の落橋防止対策】
(水平力分担装置の設置や資産拡張)

許認可について

特殊車両の交通

幅、長さ、重さ等「一般的制限値」を超える車両（特殊車両）を通行させる場合には、通行許可申請が必要です。許可申請にあたってはインターネットを利用してオンラインで申請ができます。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/index.html>

道路に関する許認可

道路の適切な管理を図るため、道路占用許可や自費道路工事の承認申請に係る許認可事務を行っています。道路上に自家用看板、日よけの一部でも突きだすときは、占用許可が必要です。

許認可業務	路線	管理区間	受付窓口
道路占用許可申請 自費道路工事承認申請	国道10号	中津市、宇佐市、杵築市、日出町 別府市、大分市	中津維持出張所 大分維持出張所
	国道210号	大分市、由布市(挾間町、庄内町) 日田市、玖珠町、九重町、由布市(湯布院町)	日田国道維持出張所



災害に備えて

風水害や土砂災害、地震など多様化する災害に備えるため、すみやかな情報提供や社会全体での支援と連携等に尽力し、災害に強い地域・大分を目指します。

防 災

地域への防災支援

水防災意識社会 再構築ビジョン

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

近年、全国各地で水害が頻発、激甚化する中、平成27年9月の関東・東北豪雨による被害を受け、国土交通省では「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」との考えに立ち、社会全体でこれに備えるため、ハード・ソフト一体となった「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を進めています。

大分川・大野川圏域では、大分市、竹田市、豊後大野市、由布市と大分県、国が共同して、「大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、ハード対策・ソフト対策を一体的・計画的に推進するため「減災のための取り組み方針」をとりまとめ、取り組みを推進しています。

減災のための目標【大分川・大野川(下流部)】

■5年間で達成すべき目標

産業・経済・人口の集積エリアを大規模水害から守るため
「地域における総合的な防災力の向上」を目指す。

■上記目標達成に向けた3本柱の取り組み

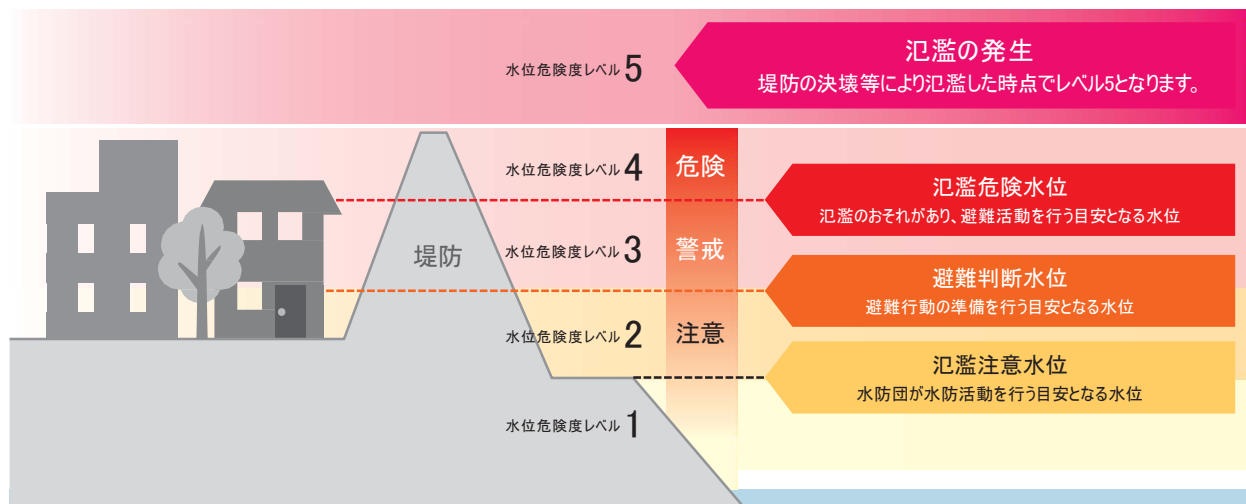
1. 浸水被害を想定した、地域単位での防災教育・避難訓練・水防活動の取り組み
2. 自治体の早期判断を助け、避難行動を住民自らが行えるよう、きめ細やかな情報の提供
3. 洪水に対する社会経済活動の安定性を高め、一刻も早い回復を可能とする機能の整備と排水対策の取り組み



予報・警報

洪水予報について

大雨が降ると河川が氾濫する危険性が高くなります。このため、大分地方气象台と大分河川国道事務所では、大分川と大野川の水位危険度レベルに応じて洪水予報を発表しています。



災害対応支援

大規模災害時の応援等に関する協定

地方公共団体の対応能力を超えるような大規模災害の場合には、災害発生直後の自治体は被災者の対応に追われ、被害状況把握などが非常に困難となります。そのため事前に、国、自治体の双方で災害対応の仕組みをルール化しておくことで、円滑な支援が可能になります。九州地方整備局では管内市町村と応援に関する協定を締結しています。

- ① 所管施設の被害状況の把握
- ② 情報連絡網の構築
- ③ 現地情報連絡員（リエゾン）の派遣
- ④ 災害応急措置
- ⑤ その他必要と認められる事項

**[情報提供・共有] [技術支援]
[災害対策用機械の派遣]**

市町村が管理する施設であってもその復旧支援が行えるよう市町村と協定を締結し、迅速な支援が行える体制を構築。

【情報提供・共有】



ヘリコプター等による災害初期のライブ映像を自治体に情報提供します。

【技術支援】



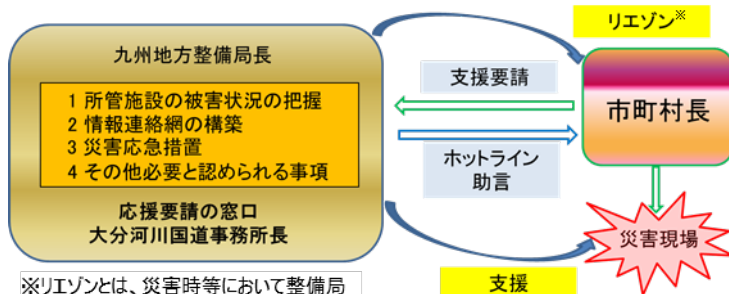
大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。

【災害対策用機械の派遣】



国土交通省が保有する災害対策用機械（防災ヘリコプター、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、遠隔操縦バックホウ等）を必要に応じ派遣します。

大分河川国道事務所の担当市町村



※リエゾンとは、災害時等において整備局職員を県・市町村へ派遣し相互の連絡調整を行い、迅速かつ的確な災害対策および災害支援を実施する仕組みです。

○大分河川国道事務所協定市町村(12市町村)

大分市、由布市、別府市、国東市、日田市、姫島村、豊後高田市、日出町、杵築市、九重町、宇佐市、玖珠町

○山国川河川事務所協定市町村(1市)

中津市

○佐伯河川国道事務所協定市町村(5市)

豊後大野市、竹田市、臼杵市、津久見市、佐伯市

大雨による被災状況

平成29年9月17日（日）に鹿児島県に上陸した大型の台風第18号は、宮崎県を通過し、日向灘を進み、高知県に再上陸しました。

台風の接近に伴い、大分県、宮崎県を中心に大雨となり、大分市内でも大野川下流部等で浸水被害が発生するなど大きな影響を及ぼしました。

また、大分県津久見市では道路の陥没や土砂崩れによって道路と鉄道が被災し、甚大な被害を及ぼしました。



大分川右岸宮崎地区(市道下郡宮崎大通り線)浸水状況
(H29.9.17)



大野川右岸利光地区浸水状況(H29.9.17)



乙津川左岸毛井地区浸水状況(H29.9.17)



大分県津久見市大岩本線被災状況調査(H29.9.20)

大雨による被災状況

平成30年9月30日（日）に鹿児島県大隅半島から日向灘に進んだ大型の台風第24号は、四国南岸を通過し、紀伊半島に上陸しました。

台風の接近に伴い、大分県、宮崎県を中心に大雨となり、大分市内の中判田地区では道路崩落が発生し3日間にわたり通行止めとなり市民生活に大きな影響を及ぼしました。

国道10号中判田地区【被災直後】



国道10号中判田地区【復旧開始】



【被災直後】



【復旧後】



防災情報の提供

河川防災情報のリアルタイム提供

ホームページや携帯電話による防災情報

川の防災情報のホームページでは、大分川や大野川の水位や雨量の情報等をリアルタイムで取得することができます。

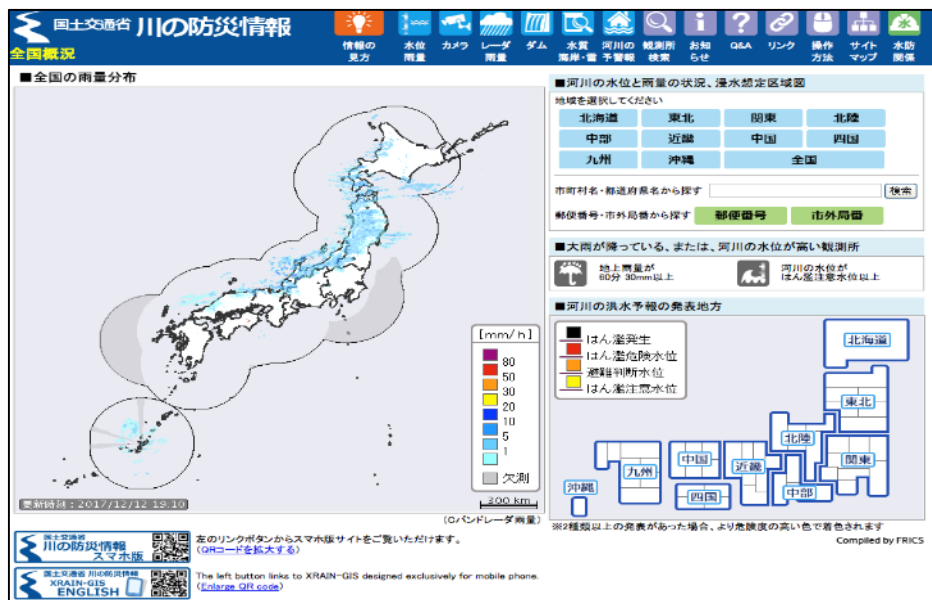
川の防災情報ページ

パソコンからアクセス

<http://www.river.go.jp>

携帯電話からアクセス

<http://www.river.go.jp/s/>



プッシュ型配信による洪水情報の提供

大分川と大野川の洪水情報を緊急速報メール（プッシュ型配信）で配信します。



※1「洪水情報」とは、指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※2「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

地デジによる河川防災情報の提供

NHK総合の地上デジタル放送（データ放送）で河川の水位・雨量情報の提供を行っています。いつでも手軽に河川の水位・雨量の防災情報を入手することが可能です。

テレビで河川防災情報を見るには



①チャンネルをNHK(総合)にして、リモコンの「d」ボタンを押します。①メニューから「防災・生活情報」を選択します。

②河川水位等情報メニューから「河川水位・雨量」を選択します。

③「1/4」を「3/4」の大分川、大野川に選択します。

④情報を入手したい河川を選択します。

道路防災情報のリアルタイム提供

ホームページによる防災情報

大分河川国道事務所のホームページでは、事務所管内の道路情報をリアルタイムで取得可能です。



道路ライブ映像

大分河川国道事務所の道路監視カメラの映像について静止画にて確認することが出来ます。

※災害等で事務所ホームページへアクセスが集中した際、ホームページの閲覧に支障が生じる場合がありますのでご了承下さい。



カメラアイコンをクリックで
現地の静止画を表示

リアルタイム道路情報

リアルタイム道路情報では、「道路情報板」・「トンネル非常警報」・「道路雨量情報」・「気温・路温情報」を確認出来ます。



カメラアイコンをクリックで
現地の静止画を表示

大分河川国道事務所ホームページ

パソコンからアクセス

<http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>

Twitterからアクセス

https://twitter.com/mlit_oita

Twitterによる情報の提供

大分河川国道事務所公式Twitterでは、河川・道路の防災情報のほか、工事の進捗状況、地域との連携の話題等さまざまな情報をリアルタイムで提供しております。



宇佐道路の法面防災工事状況（無人化掘削マシンが活躍中）



国道210号の雪寒対策(除雪作業)

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

防災情報の共有化等による連携強化

地方自治体等の関係機関や地域住民との間で防災情報等を共有し、連携体制の強化や地域の防災力向上に努めています。

大分地区地域防災連絡会



市町村への大規模災害時における支援に関して、体制の確認や情報の共有などを日頃から積極的に行うことにより、円滑な支援活動が行えるよう管内12の首長等をメンバーとして平成25年8月に設置しました。

大分県冬期道路交通確保対策調整会議



国道10号・210号における、積雪・凍結による交通障害などの雪寒対応に万全を期すため、国、県、沿線自治体、警察、消防、NEXCO等の関係機関が集まり、情報共有、連携方策の協議、意見交換などを行っています。

洪水予報連絡会、水防連絡会等の開催



水害に対する危機管理体制の強化を図るため、毎年、出水期前に防災関係機関（国、県、市、報道、消防団等）が集まり、防災に関する諸問題について各機関の情報を共有しています。

重要水防箇所等の共同点検



堤防決壊等において、住民の避難をスムーズに行うために、堤防の危険箇所を再確認し、水防活動の対応方法、避難場所、主な資機材の備蓄場所等の確認を行うために防災関係者が一同に介して重要水防箇所の共同点検を実施しています。

河川情報モニター



河川に関する情報について、情報を受ける側の視点で点検を頂くとともに、地域住民の方への河川防災情報、防災意識の普及啓発を通じて、地域の防災力向上を図るため、平成20年9月より、大分川・大野川の河川情報モニターを設置しています。

わかりやすい河川・道路情報の表示

河川水位の危険度レベル表示や河川利用標識などの情報表示について、一般の方にも理解しやすいよう工夫しています。

川の標識のルール。



川の標識がわかりやすくなるようデザインを工夫し、禁止は赤色、注意は黄色を使って色で分けます。一目でわかるように、統一した図柄を入れます。周りの景観を乱さないように、材料やデザインに配慮しています。

危険度レベルの表示



避難の基準となる水位など危険度レベルを示した水位表示板を橋脚等に設置し、川の水位をわかりやすくお知らせします。（21ページにレベルの詳細を記載しています）

海拔表示シート設置



東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、津波被害を軽減するための対策の一つとして、道路施設等に海拔情報を表示することにより、道路利用者に海拔情報を提供しています。

国土強靱化基本計画

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を推進

近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、総理大臣からの指示を受け、先般とりまとめられた「重要インフラの緊急点検の結果及び対応方針」等を踏まえ、特に緊急に実施すべき対策として、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が、平成30年12月14日、閣議決定されました。

国土交通省では、所管する分野において、総点検の結果や得られた教訓等を踏まえ、ソフト・ハードの両面から集中的に取り組んでまいります。

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の概要

1. 基本的な考え方

- 本対策は、「重要インフラの緊急点検の結果及び対応方針」（平成30年11月27日）のほか、既往点検の結果等を踏まえ、
 - ・防災のための重要インフラ等の機能維持
 - ・国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持
- 観点から、特に緊急に実施すべきソフト・ハード対策について、3年間で集中的に実施するもの。
- 国土交通省では、緊急点検結果を踏まえた対策62項目及び既往点検結果を踏まえた対策等5項目、合計67項目について対策を実施する。

2. 本対策の期間と達成目標

- 期間：2018年度～2020年度の3年間
- 達成目標：防災、減災、国土強靱化を推進する観点から、対策を完了（概成）または大幅に進捗させる。

【ソフト対策】災害発生時に命を守る情報発信の充実

※対策については主なものを記載

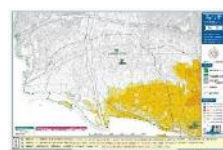
命を守るために必要なリスク情報の徹底的な周知

■重要インフラの緊急点検等で得られた人命に関わるリスク情報についてハザードマップによる徹底的な周知を行う

- ☑想定最大規模の降雨への対応として、
 - ・洪水ハザードマップの作成を概ね完了
 - ・内水浸水により人命への影響が懸念される地下街を有する地区において、内水ハザードマップの作成を概ね完了
- ☑最大クラスの津波・高潮に備えて緊急の対応を要する市町村におけるハザードマップの作成を概ね完了
- ☑土砂災害警戒区域の基礎調査の完了
 - 土砂災害のおそれが高い市町村で土砂災害ハザードマップの作成を完了
- ☑盛土造成地マップ、液状化ハザードマップの作成・公表率100%を達成
- ☑火山砂防ハザードマップの作成を完了
- ☑道路冠水危険箇所（アンダーパス等）の情報
- ☑電柱倒壊危険エリアの情報



洪水
ハザードマップ



津波
ハザードマップ



土砂災害ハザードマップ

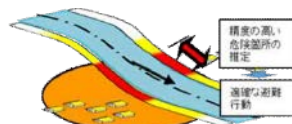


内水ハザードマップ

迅速な避難につながる河川情報の提供

■住民の避難行動を強く促す情報を発信する

- ☑氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所において、災害の切迫状況等を伝える簡易型河川監視カメラ等の設置を完了
- ☑河川の水位に関するリスク情報を「点」の情報から連続的な「線」の情報として提供する水害リスクラインのシステムの構築を完了



河川の左右岸側のリスクを連続的な線の情報として表示



簡易型河川監視カメラ
（現場実証の状況）

土砂災害から命を守る情報の充実

■土砂災害の発生のおそれを的確に判定する

- ☑土砂災害の発生のおそれがある領域をよりの確に絞り込めるよう土砂災害警戒判定メッシュの高精度化を完了



除雪

■大雪時の大規模な車両滞留リスクを低減する

- ☑除雪機械増強の体制強化等を概ね完了



除雪機械の増強

全天候型ドローン等による情報収集

■台風等による強風時など様々な環境においても継続した情報収集体制を確保する

- ☑災害時の機動的な情報収集を可能とする全天候型ドローンおよび陸上・水中レーザードローンの広域配備を完了



風速20m/s程度の強風下で飛行可能

無電柱化

■電柱倒壊による道路閉塞の被害を防止する

- ☑技術職員がいない自治体における事業実施をサポートする支援体制を構築

【ハード対策】防災のための重要インフラ等の機能維持

※対策については主なものを記載

水害・土砂災害から命を守るインフラの強化

■水害・土砂災害から国民の命を守るためインフラを強化する

- ☑氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等起因した氾濫危険性解消を概ね完了
- ☑堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間において堤防強化対策等を概ね完了

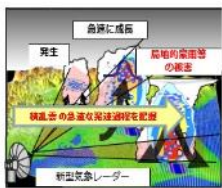
樹木伐採のイメージ



災害時にインフラの機能を維持するための電源確保

■地震時など電力供給が停止した際にもインフラの機能を維持できるよう非常用電源等を確保する

- ☑道路施設
- ☑水文観測所
- ☑河川監視カメラ



積乱雲の発達を把握する気象観測施設（イメージ）



観測施設における非常用電源等の確保

データの確実な提供・活用のための機能強化

■災害時でも運用を継続し、データを安定的に提供する

- ☑防水や移設等の対策により、電子基準点網等の耐災害性等の強化対策を概ね完了



浸水時の機能確保のための防水対策

交通ネットワークの強化

■1日でも早く平常の暮らしや経済を取り戻すための迅速な復旧・復興を強力に進める交通ネットワークを確保する

- ☑豪雨による土砂災害等の発生を防止するための道路法面・盛土対策を概ね完了
- ☑道路橋・道の駅の耐震対策を概ね完了
- ☑緊急車両の交通機能障害等のリスク低減策が必要な箇所において、液状化によるマンホール浮上防止対策・管路の耐震化を概ね完了



法面法枠工

経済・生活を支える身近なインフラの強化

■平常の暮らしに身近なインフラに潜む災害リスクを取り除き、安全・安心を向上させる

- ☑豪雨による冠水被害を防止するための道路やアンダーパス部の排水施設等の補修等を概ね完了



道路の冠水状況



道路上の排水施設



令和元年9月28日 道守大分会議×大分トリニータ×ミスベリング
「スポーツ観戦×道守まち美化活動」

地域と手を取り合う

事業などに関する出前講座や子どもたちが楽しめる学習イベント、地域住民と協働で行う美化活動など、各地域の特色にあわせた様々な活動を行っています。地域との交流や連携を通して、これからもより良いまちづくりに貢献していきます。

地域連携

学習機会の提供

地域や学生に川や道路、防災等に対する正しい知識や関心を持って頂くため、出前講座や環境学習、インターンシップなどを積極的に行っています。

出前講座

大分河川国道事務所が実施する事業や施策、川や道路、防災などに関することをもっと知り関心を持って頂くために『出前講座』を開設しています。



環境学習

洪水の危険性や避難の重要性を知ること、身近な川の水質を知り、川への理解や河川愛護へのきっかけにして頂くために地域住民・学校などと一緒に水質調査（簡易水質調査・水生生物調査）を実施しています。



インターンシップ

将来、国土交通省で働きたいと考える学生に、大分河川国道事務所がどのような仕事をしているかを知って頂くため、日常業務の体験の場を提供しています。



川に関する検討会

大分川や大野川流域の方々や川で活動する団体のみなさまとともに「川づくり・まちづくり・人づくり」について、語り・学び・交流し、河川の整備や管理に活かしています。

大分川・大野川河道管理環境検討委員会

「河川環境の整備と保全」の充実を図るため、河川内の河道掘削や樹木伐採に関して有識者から助言を受け、環境に配慮した河川整備や維持管理を実施しています。



河川協力団体

大野川水系では「乙津川水辺の楽校運営協議会」、大分川水系では「津留地区ふるさとづくり運動推進協議会」「ななせ交流会」が指定を受け、地域に根ざした河川の維持、環境保全、啓発等の活動を実施しています。



大分川・大野川学識者懇談会

大分川や大野川の河川整備事業について点検及び必要に応じて河川整備計画（原案）に対する意見聴取や事業の評価を行います。

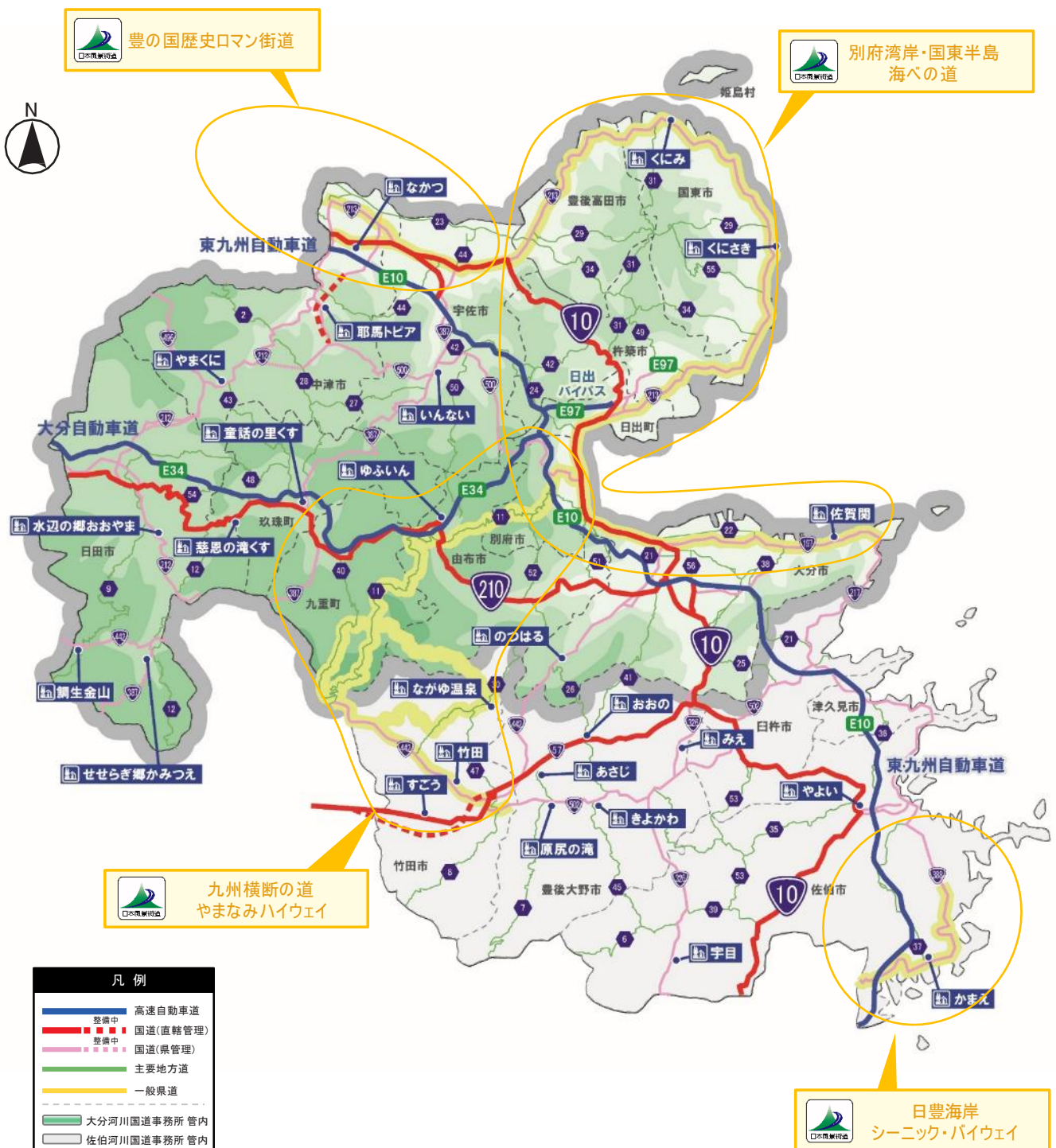


道と関わる3団体の連携

県内の道の駅・日本風景街道・道守大分会議では、それぞれが各活動を理解すると共に今後の活動をより良くするため、「三つの輪」として連携し協働活動することで、それぞれの特性をより活かしていきます。

三者連携の一環として平成29年度は九州北部豪雨(平成29年7月)と台風18号(平成29年9月)、平成30年度は北海道胆振東部地震(平成30年9月)での被災者義援金募金を実施、また令和元年度はパラリンピックを目指す大分県関係選手等を応援するための募金活動を道の駅で実施しました。

令和2年度は道の駅を拠点とし、更なる地域貢献を目指していきます。



道の駅

道路利用者や地域の方々のための「休憩機能」「情報発信機能」そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つのが「道の駅」です。

大分県内では25駅の「道の駅」が登録されています。(2020年4月現在)

令和2年度は、「道の駅」慈恩の滝くすに子育て支援施設(授乳室)を設置します。



「道の駅」慈恩の滝くす



「道の駅」ゆふいん

災害に備えて、 「道の駅」ゆふいんを整備

「道の駅」ゆふいんでは、防災施設(防災倉庫、防災トイレ)の整備を進めています。
(大分県で初めて重点「道の駅」(2019.1.30)に選定されました)

重点「道の駅」: 地方創生の核となる優れた取組を選定し、重点的に応援する取組です。

日本風景街道

「日本風景街道」とは、住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」や「観光の振興」を行っていく取り組みです。

大分県内には「別府湾岸・国東半島海への道(豊後高田市～大分市)」「九州横断の道やまなみハイウェイ(別府市～竹田市)」「豊の国歴史ロマン街道(北九州市～宇佐市)」と「日豊海岸シーニック・バイウェイ(佐伯市～延岡市)」の4ルートがあります。



くじゅう高原野焼き



第2回日本世間遺産学会in呉崎



5県連携サイクルシンポジウム



油屋熊ハミュージカル

「世間遺産を巡るまち歩き」「5県連携サイクルツーリズム」プロジェクト

別府湾岸・国東半島海への道では、平成28年度から「世間遺産を巡るまち歩き」プロジェクトを実施中。

また令和元年度からは、西瀬戸の5県が連携してつながる広大なサイクルルート構想の実現に向けて活動しています。

年間を通してまち歩きのガイドを実施

九州横断の道やまなみハイウェイでは、年間活動として、由布・九重地区で野焼き活動、竹田地区で清掃活動、別府地区でまち歩きのガイドを実施しています。

道守大分会議

道守（みちもり）とは「道」を舞台に、あるいは「道」をテーマに、さまざまな活動を行う人々のことです。

道守大分会議では、道守活動を行っているNPO、市民団体、個人、企業等がネットワークを形成し、153団体、約7,000名が道路清掃等のボランティア活動や情報発信を行なうことで交流しています。



令和2年2月1日「別大国道ボランティア清掃」



令和元年9月24日「西大分地区ラグビーWCおもてなし花壇」



令和元年9月28日「スポーツ観戦×道守まち美化活動」



平成31年2月25日「大分プロスポーツ3チーム
別大国道マイツリー植樹式」

いつでも地域を美しく

道守大分会議では、毎年、国道10号別大国道にて年2回の清掃活動を実施しています。平成28年度には【道路協力団体】の大分第1号として指定されました。

これを機に活動がより一層活発化することが期待されます。

道路協力団体制度は、官民連携による道路管理の一層の充実を目的とした制度です。本制度により道路占用が必要な場合の手続きの円滑化・柔軟化が図られ、道路空間を活用した収益活動が可能(但し、道路管理に還元する必要あり)になりました。

ボランティア・サポート・プログラム(VSP)による国道の清掃美化活動

国道の清掃美化活動を行う地域や企業の皆さんと共に快適な道づくりを進めるため、各ボランティア団体と「ボランティア・サポートプログラム」(VSP)協定を締結して活動を支援します。

VSP協定団体は21団体を数え、各団体においてゴミ拾いや植栽帯の整備などの活動を実施しています。



ボランティア・サポート・プログラム協定実施団体の豊友会

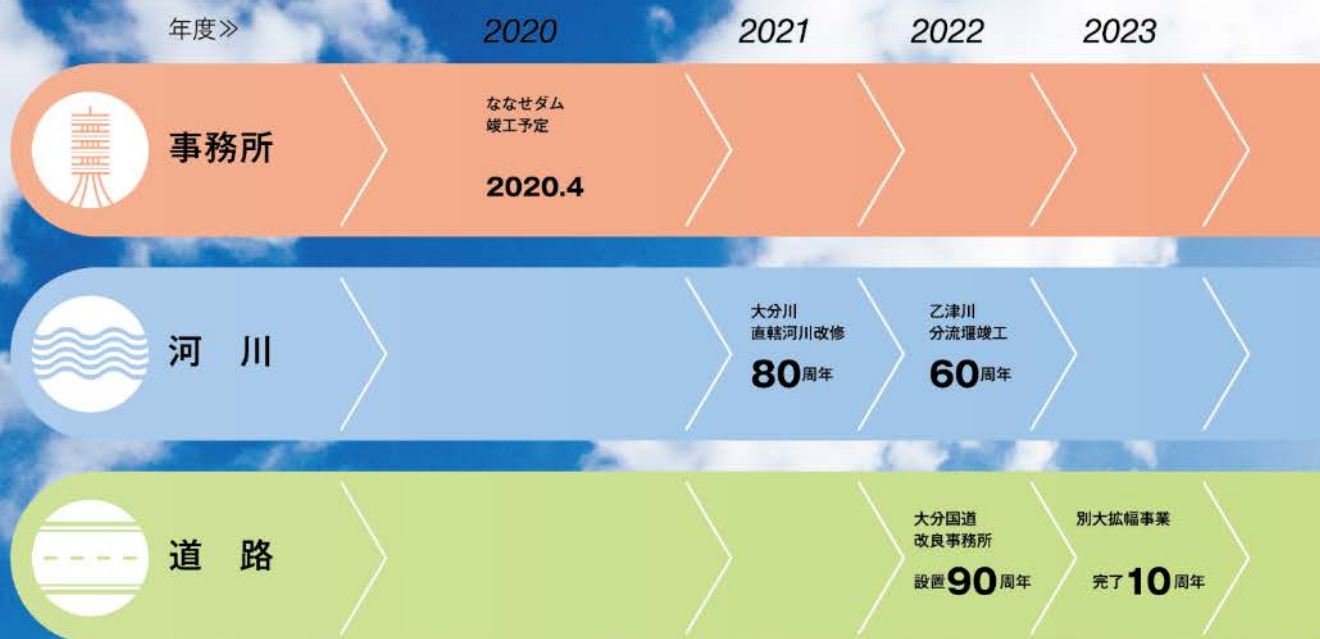


大分みちフォトコンテスト 応募作品より

大分河川 国道の歩み

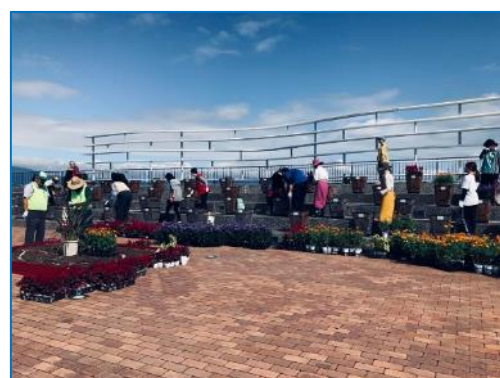
大分河川国道事務所 発足100周年へのキックオフ

大分河川国道事務所は、昭和4年に内務省下関土木事務所大野川改修事務所として発足以来、幾多の変遷を経ながら91年の歴史を歩んで来ました。
これからの事務所発足100周年に向けて
様々なイベントを開催して参ります。



ラグビーワールドカップ
おもてなし花壇 ▶

◀ 水辺で乾杯
in大分川



5県連携サイクル
シンポジウム ▶



◀ 日本世間遺産学会
in呉崎





◁ 大野川合戦祭り

戸次中学校
出前講座 ▷



◁ 大野川直轄編入90周年
記念パネル展

河川防災・減災
セミナー2020 ▷



大分河川国道事務所の歴史

事務所の動き 茶字：国内・県内の動き	河川事業 青字：ダム事業	道路事業 緑字：高速道路関連	歴代事務所長
S 4 . 6 大野川改修事務所設置 *世界恐慌始まる S 7 . 6 大分国道改良事務所設置 S 9 . 4 大分国道改良事務所移転 11 *久大本線、日田～天ヶ瀬間 開通で全線開通 S 16 . 4 大分川改修事務所設置 S 18 . 3 大分国道改良事務所廃止 4 大分川改修事務所と大野川改修事務所 を統合し、大分工事事務所となる 11 内務省下関土木事務所を九州土木 出張所に改称 S 20 . 8 *太平洋戦争が終戦 10 大分工事事務所は大分川改修事務所 と大野川改修事務所に分離 S 22 . 5 *日本国憲法施行 6 大分川改修事務所と大野川改修事務所 を統合し、大分工事事務所となる S 23 . 1 内務省管制廃止により、総理庁建設院 九州地方建設局大分工事事務所となる 5 *大分大学の設置決まる 7 建設省設置に伴い建設省九州地方 建設局大分工事事務所となる (大分、鶴崎、戸次出張所を含む) 9 大分工事事務所は大分川工事事務所 と大野川工事事務所とに分離 S 25 . 10 大分川工事事務所と大野川工事事務所 と統合し、大分工事事務所となる S 26 . 6 大分国道出張所を設置 (昭和36年5月大分維持出張所に名称 変更) S 34 . 8 *NHK大分放送局テレビ 開局 S 39 . 7 大分工事事務所に中津工事事務所を 統合(中津、中津維持出張所を含む)口 10 *第18回東京オリンピック開催 S 40 . 4 玖珠国道出張所を設置 *新河川法施行、一級水系指定 S 41 . 4 日田国道出張所を設置 9 *大分国体、別府市、日田市で開催 S 45 . 3 *日本万国博覧会開催(大阪) S 46 . 4 佐伯工事事務所から竹田国道出張所 を統合し、竹田国道維持出張所に名称 変更、戸次出張所庁舎移転 10 *新大分空港が移転開港 S 47 . 5 竹田維持出張所及び佐伯維持出張所 を佐伯工事事務所に移管 *沖縄、日本に復帰 口 S 48 . 4 玖珠国道出張所を廃止 S 49 . 2 *日豊海岸国立公園決定 3 機械設備工場閉鎖 S 54 . 11 *平松知事、「一村一品運動」を提起 S 61 . 3 戸次出張所を廃止 4 戸次出張所と鶴崎出張所を統合し 大野川出張所に名称変更 S 62 . 4 *JR、民営で新11の会社発足 S 63 . 4 日田国道出張所を日田国道維持出張所 に名称変更 S 64 . 1 *昭和天皇崩御(1月7日) H 1 . 1 *平成元年始まる(1月8日)	S 4 . 6 大野川改修事業に着手口 S 16 . 4 大分川改修事業に着手口 S 23 . 4 山国川改修事業に着手口  昭和27年 山国川恒久橋工事  昭和28年 大野川 護岸工事  昭和35年 山国川下宮永床止工事 S 37 . 3 大野川派川乙津越流堤工事完成 S 49 . 4 大野川上流部(12K000～16K300) 直轄編入変更 S 50 . 3 大分川派川裏川締切工事完成口 S 53 . 4 大分川ダム実施計画調査に着手 S 58 . 4 宮永堰実施計画調査に着手口 S 59 . 8 山国川小祝地区特殊堤工事完成口 S 60 . 4 中津大堰建設工事に着手口 S 61 . 3 大分川今津留引堤工事完成口 S 62 . 3 大野川支川伴田川の改修工事完成口 4 大分川ダム建設事業に着手 S 63 . 4 山国川本川上流部(15K300～27K400)口 直轄編入変更 12 大分川ダム基本計画の告示	 明治のころの大分駅前通 S 14 . 3 大分～別府間7.4kmの国道改修工事竣工  昭和初期のコンクリート舗装工事 S 37 . 4 一級国道57号を大分県から移管 S 39 . 3 一級国道10号中津～日出間(L=58km) 一次改築完了口 S 40 . 3 一般国道10号大分～中の谷間 (L=42.9km)一次改築完了 4 一般国道210号を大分県から移管 S 42 . 3 一般国道10号中の谷～宮崎県境 (L=40km)一次改築完了口 3 一般国道212号の一部を大分県から 権限代行により引き継ぐ 5 一般国道57号改築工事を佐伯工事 事務所に移管 S 47 . 4 別大路面電車廃止 S 48 . 3 一般国道210号日田～湯布院間 (L=56km)一次改築完了 4 一般国道10号中の谷トンネル (有料道路L=3.9km)を道路公園から移管口 S 53 . 3 一般国道10号大分拡幅生石地区、口 金池地区(L=2.0km)二次改築工事竣工 S 55 . 3 一般国道10号府内大橋及び二次改築 工事完成 4 一般国道387号の一部を大分県から権 限代行により引き継ぐ S 56 . 7 一般国道212号の権限代行区間の 事業完成により大分県に引き継ぐ 11 一般国道10号大分南バイパス白滝橋 (L=292m)完成 S 57 . 3 一般国道10号別大拡幅日出地区 (L=5.1km)二次改築工事完成 S 59 . 3 一般国道10号別大拡幅亀川地区 (L=3.6km)二次改築工事完成口 4 同亀川地区(L=3.6km)供用 S 61 . 3 一般国道10号大分南バイパス S 62 . 8 一般国道10号大井手地区(L=0.95km)供用口 S 63 . 5 一般国道10号中津バイパス(L=8.33km)供用 H 1 . 7 九州横断自動車道 湯布院～別府 (L=27.2km)開通 ※県内初の高速道路 H 2 . 3 九州横断自動車道 福岡県朝倉～日田 (L=22.5km)開通	S 23 . 7 [1948] 田 中 寛 二 S 24 . 3 [1949] 久 世 秀 明 S 28 . 4 [1953] 宮 下 寿 雄 S 30 . 8 [1955] 河 角 鶴 夫 S 31 . 4 [1956] 桑 幡 五 郎 S 36 . 11 [1961] 日向野 良 世 S 38 . 8 [1963] 伊賀上 季 明 S 41 . 7 [1966] 宮 下 義 夫 S 44 . 7 [1969] 瀬 戸 充 S 47 . 4 [1972] 長 井 登 S 48 . 6 [1973] 今 山 健 S 51 . 8 [1976] 桑 田 博 文 S 55 . 8 [1980] 光 岡 毅 S 58 . 4 [1983] 針 貝 武 紀 S 60 . 9 [1985] 米 倉 俊 治 S 63 . 4 [1988] 吉 川 勝 敏 H 2 . 7 [1990]

事務所の動き 茶字:国内・県内の動き		河川事業 青字:ダム事業		道路事業 緑字:高速道路関連		歴代事務所長		概要	
H 3 . 4 *ハーモニランド(日出町)オープン 6 *雲仙岳で火砕流が連続発生		H 2 . 11 中津大堰(平成大堰)完成口 H 4 . 3 大野川古川水門改築工事完成口 H 5 . 11 大分川ダム建設に伴う用地調査着手		H 2 . 9 一般国道10号瀬社橋の架替完成口 H 4 . 4 一般国道10号旦の原交差点改良事業着手口 12 九州横断自動車道 別府～大分口 (L=14.8km)開通 H 5 . 3 一般国道10号宇佐道路(L=5.1km)供用口 3 一般国道10号宇佐別府道路 (L=18.1km)供用口 4 一般国道10号大分南バイパス (L=1.6km)供用口 12 一般国道210号日田バイパス (L=3.1km)供用口 H 6 . 12 一般国道10号宇佐別府道路 (L=18.1km)供用 H 7 . 3 一般国道387号玖珠地区(L=0.96km)供用 3 九州横断自動車道 日田～玖珠 (L=24.7km)開通口 H 8 . 3 九州横断自動車道 玖珠～湯布院 (L=21.8km)開通口 ※九州の7県都が高速道路でつながる 6 一般国道10号上尾トンネル (下り線L=0.694km)供用 11 九州横断自動車道 大分～大分米良 (L=7.8km)開通 ※大分自動車道全通 12 一般国道10号大分南バイパス口 (L=3.86km)4車供用口 H 9 . 12 一般国道10号別大拡幅(田ノ浦～ 仏崎地区L=1.9km)4車暫定供用口 H 10 . 4 一般国道10号古国府拡幅事業着手口 H 11 . 4 一般国道210号(水峠～湯布院)IC口 入口、木上バイパスL=8.42kmを直轄編入口 11 東九州自動車道 大分宮河内 (L=6.2km)開通 ※東九州道の初開通口 12 一般国道10号上尾トンネル上り線 L=663m供用口 H 12 . 4 一般国道210号天瀬改良の事業着手口 H 13 . 12 東九州自動車道 大分宮河内～津久見 (L=21.0km)開通 H 14 . 3 一般国道10号日出バイパス(L=9.0km) 供用 3 一般国道旦の原交差点改良(L=0.99km)供用 H 16 . 2 一般国道10号別大拡幅(田ノ浦～西大分 地区L=3.9km)6車線供用 H 19 . 3 一般国道210号由布市湯布院町～大分市 木上 (L=32.8km)が直轄区間に編入 3 一般国道387号柿ノ木峠道路(L=12.6km) が全線供用【直轄権限代行】口 4 中津日田道路 三光本耶馬溪道路 (L=12.8km)の事業着手【直轄権限代行】口 H 20 . 6 東九州自動車道 津久見～佐伯 (L=13.0km) 開通 H 22 . 3 一般国道10号中津バイパス(L=4.2km)口 全線4車線供用 H 24 . 2 一般国道10号別大国道(別大地区)口 全線6車線供用 11 一般国道210号田原拡幅(L=1.1km)口 全線4車線供用 H 25 . 1 一般国道10号古国府拡幅(L=0.6km)口 全線4車線供用 2 東九州自動車道 蒲江～北浦(L=14.2km)開通 3 一般国道10号敷戸橋の架替完成 H 26 . 3 一般国道10号別大拡幅口 (日出地区 L=1.2km)全線4車線化供用 上記区間の供用により速見郡日出町～ 大分市生石間L=22.6kmの拡幅事業が完了口 4 一般国道10号高江拡幅(L=2.8km)事業着手 H 27 . 2 大野竹田道路大野～朝地(L=6.3km)完成 2車線供用 3 東九州自動車道 豊前～宇佐(L=21.1km)開通 3 東九州自動車道 佐伯～蒲江(L=20.4km) 開通 ※大分県内区間全通 H 28 . 4 一般国道210号横瀬拡幅(L=1.5km)の事業着手口 4 東九州自動車道 椎田南～豊前(L=7.2km)開通 ※北九州～大分～宮崎間全通 H 30 . 12 天瀬改良事業(L=1.0km)完成 H 31 . 3 中津日田道路 三光本耶馬溪道路 4 中津～田口(L=2.8km)完成【直轄権限代行】 川下改良事業着手		H 2 . 7 [1990] 中村 亮 H 4 . 4 [1992] 辻 英夫 H 6 . 7 [1994] 菅原 信二 H 8 . 11 [1996] 中村 稔 H 11 . 7 [1999] 上田 敏 H 13 . 8 [2001] 大塚 俊介 H 16 . 7 [2004] 長太 茂樹 H 18 . 7 [2006] 西尾 崇 H 20 . 8 [2008] 谷村 昌史 H 22 . 4 [2010] 奥田 秀樹 H 25 . 4 [2013] 稲田 亮 H 27 . 4 [2015] 久田 成昭 H 29 . 4 [2017] 今田 一典 H 31 . 4 [2019] 樋口 尚弘		概要	
H 7 . 1 *阪神・淡路大震災発生		H 7 . 3 山国川下宮永排水機場改築工事 完成 4 大分川ダム建設に伴う工事用道路 着手		H 9 . 3 大分川支流七瀬川市捷水路工口 完成		H 10 . 2 *長野冬季オリンピック開催		河川	
H 12 . 4 *立命館アジア太平洋大学(別府市) 開校				H 11 . 3 大野川防災ステーション工事完成 12 大野川水系河川整備基本方針策定		H 12 . 4 *アメリカで同時多発テロ発生(9.11)		道路	
H 13 . 1 国土交通省九州地方整備局 大分工事事務所となる 3 *2002年ワールドカップ会場となる 大分スポーツ公園総合競技場 (ビッグアイ)完成 9 *アメリカで同時多発テロ発生(9.11)		H 12 . 2 大分川ダム建設事業に伴う 損失補償基準協定書調印		H 12 . 2 大分川ダム建設事業に伴う 損失補償基準協定書調印		H 14 . 6 *日韓共催ワールドカップ開催		防災	
H 15 . 4 大分河川国道事務所に名称変更口 4 中津出張所を山国河川事務所に 移管		11 大野川水系河川整備計画(直轄管理 区間)策定		11 大野川水系河川整備計画(直轄管理 区間)策定		H 15 . 4 大分河川国道事務所に名称変更口 4 中津出張所を山国河川事務所に 移管		地域連携	
H 16 . 4 *高崎山おさる館、うみたまご (大分市)完成		H 14 . 3 大分川尼ヶ瀬排水機場新設工事完成 4 大分川ダム工事事務所設置により 移管		H 14 . 3 大分川尼ヶ瀬排水機場新設工事完成 4 大分川ダム工事事務所設置により 移管		H 16 . 2 一般国道10号別大拡幅(田ノ浦～西大分 地区L=3.9km)6車線供用		大分河川国道の歩み	
H 17 *平成の市町村合併		H 15 . 3 大野川迫排水機場完成 4 山国川直轄管理区間を山国河川 事務所に移管 8 大野川迫排水機場新設工事完成		H 15 . 3 大野川迫排水機場完成 4 山国川直轄管理区間を山国河川 事務所に移管 8 大野川迫排水機場新設工事完成		H 19 . 3 一般国道210号由布市湯布院町～大分市 木上 (L=32.8km)が直轄区間に編入 3 一般国道387号柿ノ木峠道路(L=12.6km) が全線供用【直轄権限代行】口 4 中津日田道路 三光本耶馬溪道路 (L=12.8km)の事業着手【直轄権限代行】口 H 20 . 6 東九州自動車道 津久見～佐伯 (L=13.0km) 開通		防	
H 18 . 10 *九重“夢”大吊橋(九重町)完成		H 18 . 2 大分川水系河川整備計画策定		H 18 . 2 大分川水系河川整備計画策定		H 22 . 3 一般国道10号中津バイパス(L=4.2km)口 全線4車線供用		災	
H 23 . 3 *東日本大震災発生(3.11) 4 *大分市市制施行100周年 7 *地上デジタル放送に完全移行		H 19 . 3 乙津川鴨園排水機場完成 7 大分川支線七瀬川下田尻排水機場 完成 8 大分川宮崎排水機場完成		H 19 . 3 乙津川鴨園排水機場完成 7 大分川支線七瀬川下田尻排水機場 完成 8 大分川宮崎排水機場完成		H 24 . 2 一般国道10号別大国道(別大地区)口 全線6車線供用 11 一般国道210号田原拡幅(L=1.1km)口 全線4車線供用		地	
H 24 . 3 *JR大分駅が完全高架化						H 25 . 1 一般国道10号古国府拡幅(L=0.6km)口 全線4車線供用 2 東九州自動車道 蒲江～北浦(L=14.2km)開通 3 一般国道10号敷戸橋の架替完成		域	
H 25 . 7 *ホルトホール大分(大分市)完成		H 26 . 12 大野川水系河川整備計画変更		H 26 . 12 大野川水系河川整備計画変更		H 26 . 3 一般国道10号別大拡幅口 (日出地区 L=1.2km)全線4車線化供用 上記区間の供用により速見郡日出町～ 大分市生石間L=22.6kmの拡幅事業が完了口 4 一般国道10号高江拡幅(L=2.8km)事業着手		連	
H 27 . 4 *大分県立美術館(大分市)完成		H 23 . 3 大野川大谷樋門完成		H 23 . 3 大野川大谷樋門完成		H 27 . 2 大野竹田道路大野～朝地(L=6.3km)完成 2車線供用 3 東九州自動車道 豊前～宇佐(L=21.1km)開通 3 東九州自動車道 佐伯～蒲江(L=20.4km) 開通 ※大分県内区間全通		携	
H 28 . 4 *熊本地震発生		H 26 . 12 大野川水系河川整備計画変更		H 26 . 12 大野川水系河川整備計画変更		H 28 . 4 一般国道210号横瀬拡幅(L=1.5km)の事業着手口 4 東九州自動車道 椎田南～豊前(L=7.2km)開通 ※北九州～大分～宮崎間全通		大分河川国道の歩み	
H 30 . 9 *一般国道10号大分市大字中判田 路面下先掘により被災		H 27 . 4 一般国道210号横瀬拡幅(L=1.5km)の事業着手口 4 東九州自動車道 椎田南～豊前(L=7.2km)開通 ※北九州～大分～宮崎間全通		H 27 . 4 一般国道210号横瀬拡幅(L=1.5km)の事業着手口 4 東九州自動車道 椎田南～豊前(L=7.2km)開通 ※北九州～大分～宮崎間全通		H 29 . 4 [2017] 今田 一典			
R 1 . 5 *令和元年始まる(5月1日) 9 *ラグビーワールドカップ2019開催		R 1 . 11 大分川ダム本体完成		R 1 . 11 大分川ダム本体完成		H 31 . 4 [2019] 樋口 尚弘			

大分県観光MAP

OITA PREF. GUIDE MAP



大分県の日本一

出典：大分県令和元年度県政概要



温泉源泉総数
4,385孔 (28年度末)
温泉湧出量
281kl/分 (28年度末)



再生可能エネルギー
自給率
40.2% (29年度末)



県指定有形文化財
(建造物)
209件 (30.5.1)



道路トンネル数
578本 (29.4.1)



かぼす生産量
3,800t (29年)



乾しいたけ生産量
1,044t (29年)



七島イ生産量
8.3t (29年)



サフラン(花芯)生産量
15kg (29年)



マダケ竹材生産量
42千束 (29年)



ホオズキ出荷量
1,004千本 (28年)



石灰石生産量
26,529千t (29年度)

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

宮崎県
MIYAZAKI PRE.

出典：大分県

事務所のご案内

大分川水系・大野川水系・大分川ダムに関するお問い合わせ

【各事務所の位置図】



	河川名	起点・終点	総管理延長(km)	管理延長(km)	通過市町村	担当出張所
大分川水系	大分川	河口から天神橋(由布市挾間町)まで	26.8	17.0	大分市・由布市	大分出張所
	賀来川	大分川合流点から宮苑井堰まで		2.0	大分市	
	七瀬川	大分川合流点から旧田吹橋跡まで		7.8	大分市	
大野川水系	大野川	河口から19km上流付近	32.3	19.8	大分市	大野川出張所
	乙津川	河口から大野川分派点まで		10.9	大分市	
	判田川	大野川合流点から昆布刈橋まで		1.3	大分市	
	立小野川	判田川合流点から判田橋まで		0.3	大分市	
	合計		59.1			

国道10号・210号の維持管理に関するお問い合わせ

【各事務所の位置図】



	号線	起点・終点	総管理延長(km)	管理延長(km)	通過市町村	担当出張所
10号		中津市三光佐知	(8.5)	〔4.4 宇佐道路〕 59.8	中津市、宇佐市、杵築市、日出町	中津維持出張所
		～大分市大字上戸次字川原	104.1	(4.1 大分南バイパス) 44.3	別府市、大分市	大分維持出張所
210号		日田市大字川下	97.0	26.6	由布市(庄内町、挾間町)、大分市	大分維持出張所
		～大分市大字宮崎		70.4	日田市、玖珠町、九重町、由布市(湯布院町)	日田国道維持出張所
	合計		(8.5) 201.1			

〔 〕は自動車専用道路区間内書き
()はバイパス区間内書き

道路の異状を
発見したら…

**緊急
通報 #9910**
道路緊急ダイヤル 24時間受付
(通話料無料)

道に関する
ご意見・ご提案・ご相談は

道の相談室
TEL 092-672-5614
FAX 092-476-3514
(通話料有料)



受付時間 月～金 9:30～17:00
(土日祝日および年末年始は除く)

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

発行 令和2年4月

〒870-0820 大分県大分市西大道一丁目1番71号

TEL: 097-544-4167 FAX: 097-546-1326 E-mail: qsr-oita@mlit.go.jp

HP: <http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/> Twitter: https://twitter.com/mlit_oita

